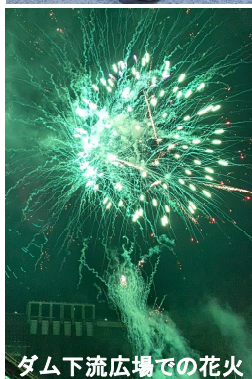


「吉野川総合開発50周年記念式典」を開催

乱のの最のけににもクパ達80バルのうこいと70
れの花後イま参加もイネルする名名のうま共同年
ま空火にはイベントしたくズルなど現参加大の宴い波と周
しにが恒トのいたの方ー見者盛が集阿で「やまびこ
。にが嶺例のだ方ー学を況だ銘踊開「やまびこ
。にが嶺例のだ方ー学を況だ銘踊開「やまびこ



水資源機構の展示ブース



ダム下流広場での花火



記念式典でのくす玉開披

吉野川総合開発の主要施設である早明浦ダム、池田ダム、新宮ダムが令和7年度に管理開始50年を迎えるにあたり、四国四県の人々に水源地域やダム等からの恩恵を再認識していただく、「吉野川総合開発50周年記念式典」及び「交流イベント」を開催しました。

記念式典には、水源地域や受益地域の首長ら約150名に参加いただき、式典でのあいさつでは、香川県の池田知事から、「香川の発展に恩恵をもたらしている香川用水は、水源地域のご理解とご協力の下で送られてくる『友情の水』。」「高知県の濱田知事からは、「ダム建設を受け入れてくれた嶺北地域のおかげで吉野川流域の経済発展が実現された。」などの、感謝の言葉が述べられました。

交流イベントは、土佐町合併70周年「やまびこカーニバル」と共同で開催しました。『よさこい』と阿波踊りの共演。四国のうまいが集まる、水のふるさとの大宴。』と銘打つてのカーニバルが、大盛況だったこともあり、80名の参加者を募集した早明浦ダム現場見学会もすぐに定員に達するなど、パネル展示やクイズラリーにも多くの参加がありました。

早明浦ダムだより

早明浦ダム
ホームページ

◆令和7年の貯水池運用状況

本年は1月2月と降水量が少なかった事から、3月上旬には利水貯水率が60%以下まで低下しました。その後は、前線等による降雨により貯水率が回復し、5月12日には貯水率が100%に到達しました。

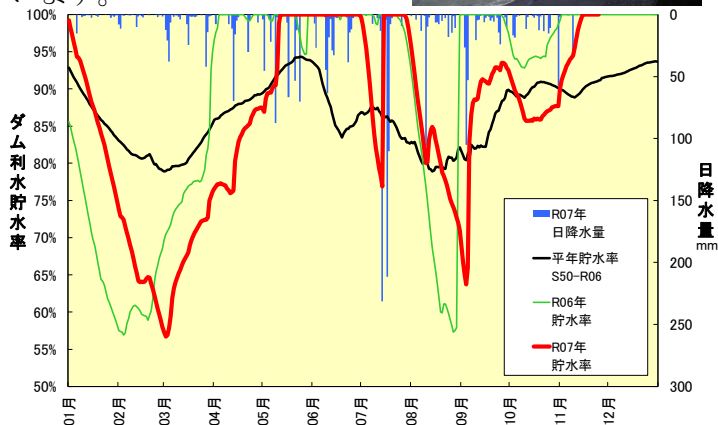
それ以降、洪水期に入る7月1日まで、ほぼ100%で推移し、7月には2回の洪水調節を実施しました。

8月は7月とは一転して降水量が平年と比較して50%未満と少なく、貯水率が60%を切る可能性が出てきたことから、9月2日に第一次取水制限を開始しましたが、台風15号に伴う降雨により、貯水率が80%程度まで回復し、その後も貯水率の上昇が見込まれたことから、9月5日には取水制限を解除しました。

現在は、平年に比べて降水量は少ないものの、11月25日時点で貯水率は100%となっています。



7月18日の放流状況



湖面利用安全講習

さめうら湖の利用にあたっては、ダム管理者や自治体等関係機関により構成する「さめうら湖協議会」において湖面利用ルール等を取り決めており、その取り決めに基づいて「NPO法人さめうらプロジェクト」他2協議会が利用者の管理や利用ルールの周知を行っています。

10月29日に、さめうらプロジェクトの辻村理事長にお越しいただき、早明浦ダム職員に対して、湖面利用に関する安全講習を実施いただきました。湖面利用のルール等に関しては、以下のページに記載しておりますので、ご確認下さい。

https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/sameura/komen_riyou.html



船上での安全講習

湖面利用に関する
詳細はこちらから

利水放流管からの放流

早明浦発電所(電源開発株式会社)では、毎年、発電所の点検・整備作業を実施しています。令和8年の2月～3月の期間中、発電所を停止させ発電放流(利水放流)ができない状況となるため、下流への利水補給の際は、早明浦ダム利水放流管からの放流を予定しています。

普段と異なる早明浦ダムからの放流を見られるチャンスです。

なお、ダムの水質や下流の流況等によっては、利水放流管からの放流を行わない場合もあります。



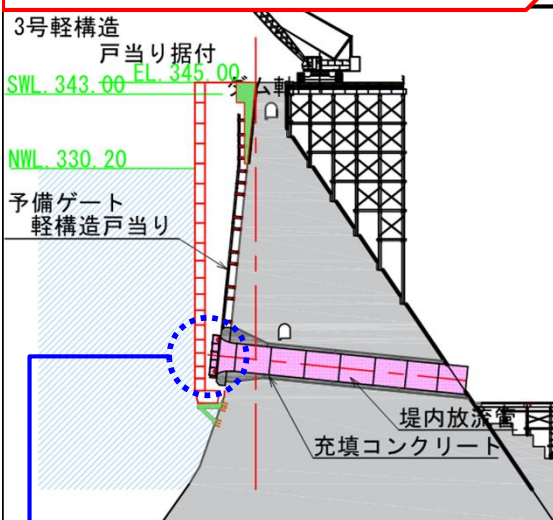
利水放流管からの放流状況 R7.2

★ 早明浦ダム再生事業 工事進捗状況報告 ★

【増設する放流管の工事状況】

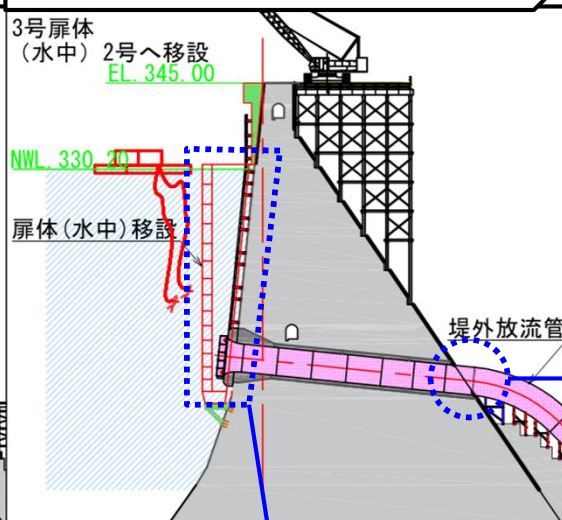
最初にダム堤体に貫通させた1本目の孔では、下流に水を流すための放流管の設置が進みダムの下流側でも設置作業を開始しました。ダムの上流側では、2本目の堤体削孔に向けて上流仮締切の扉体を移設する準備や予備ゲートの設置を行っています。

令和7年11月中旬時点



ダム上流の予備ゲート設置

令和7年12月以降予定

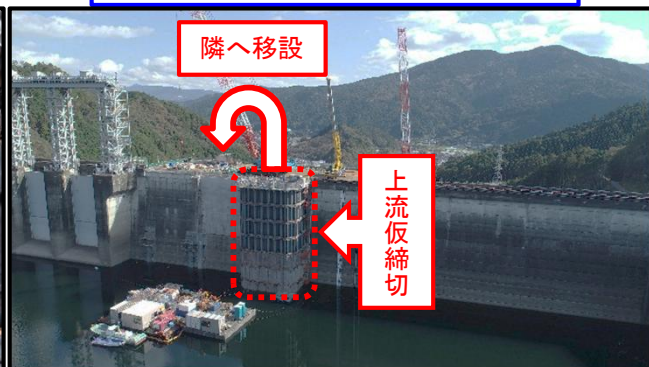


1本目(3号)から2本目(2号)へ移設準備

ダム堤体外の放流管設置状況



ダム下流に見えてきた放流管



★ トピックス やまびこカーニバル 特別見学会を開催 ★

令和7年11月16日、早明浦ダム下流広場にて『やまびこカーニバル2025』が開催されました。水資源機構では、早明浦ダム再生事業特別現場見学会を行いました。見学会には定員である約80名の方に参加いただき、ダムカードパネルを使った記念撮影や、設置される予定の放流管にメッセージやイラストを書いていただき、この日だけの特別な体験を満喫していただきました。

工事現場を間近で見る見学者



放流管への寄せ書き

